

トピックス

1. コロナ禍に思う コロナが笑ってる
2. コロナ撲滅を願って 穀雨～立夏の季節



福留経営労務管理事務所
姫路龍馬会
社会保険労務士・行政書士
福留章

龍馬通信

No. 29

2020年5月号

コロナ撲滅を願って 穀雨～立夏の季節

清明から穀雨に季節は移ろいますが、今年はコロナウイルス禍の真っ只中、沈滞ムードの中、季節を寿ぎ花を賞で鳥の声を聞くという事すら忘れかけたような毎日です。

コロナは本来、宇宙現象。太陽の周囲をとりまく薄いガスで皆既日食の際、青白く冠状に光って見えます。神秘的で妖しげな美しきで有名。ウイルスの形が円形に独特の突起があってコロナのガスの形状に似ていることから名付けられた。当のコロナにとっては迷惑な話。無粋なコロナウイルスは全世界を席卷し今だに終息の気配は見えない。桜の花も今年は何かも悲しく、寂しく見えたのは私だけだろうか。

えいやっと気分を直して、改めて春から夏への季節を思う。私は薄紫色の藤の花が好きだ。藤棚からたれさがる藤の花房の美しさは優雅で品格があり貴族の風情がある。高級ホテルのシャンデリアのようだ。「棚などにつるを巻きつける落葉低木。5月頃薄紫色のチヨウ型の花がふきの形にたれて咲く」と辞書にはある。香りも強く、透明な光の中、そよぎわたる薫風にゆらゆらと揺れる様は、平安時代の殿上人を連想させる。やがて季節は「立夏」猛暑でもいいからそのエネルギーでコロナウイルスをはね飛ばしてくれないかと心から思う。

生きとし生きるものが大きく成長する季節。思いきって外へ出て初夏の空気を胸一杯に吸ってみたい衝動にかられる。憎つくきはコロナウイルス。皆さんも賢く恐れて・・・ご自愛下さい。

※穀雨 4月20日頃

※立夏 5月6日頃



随筆 『龍馬と私』 ～ 龍馬脱藩への道 ～

龍馬の胸に「脱藩」の文字がはっきりとその輪郭をあらわす契機となったのは、長州での久坂玄端との出会いであったと言われている。土佐勤皇党に入った龍馬は、武市半平太の使者として親書を携え長州の萩に赴き久坂と数度会っている。文久2年（1862）1月14日。龍馬25歳の事である。その後武市への返書を預かって

土佐に戻る。龍馬は激烈な尊皇攘夷論者である久坂の薫陶を受ける。武市への返書の中で久坂は次の様な持論を述べている。「諸侯頼むに足らず、公郷又頼むに足らず草莽志士糾合義挙の他にはとて策これなきこと」「尊藩（土佐藩）」も弊藩（長州藩）も、滅亡しても大義なれば苦しからず」当時としては驚くべき内容であり対幕の気配さえうかがえる。やや時期尚早と思えた久坂らの尊皇攘夷論はそれぞれの藩の守旧派によって退けられる。公武合体論が諸侯の間では一般的であり、土佐でも一藩勤皇を企図する武市は最後までその望みを果すことがなかった。当時、久坂玄端



久坂玄端

は尊皇攘夷運動、反幕運動の急先峰でありシンボリックな中心人物であった。松下村塾で桂小五郎・高杉晋作・後藤俊輔・山縣有朋らと共に学び、後に灯銭申合（総勢24名）を創設。安政の大獄による松田松陰の刑死を機にさらに攘夷運動は先鋭化する。久坂はやがて禁門の変で戦死、享年25歳若すぎる死ではあったが、その火の玉のような一生は、後の明治維新への扉を開いたと言って過言ではない。そんな久坂の燃えるような生き方は若い龍馬に大きな感銘を与え、龍馬の心を揺り動かしたに違いない。同年2月末に土佐に帰国。3月24日には「脱藩」を執行している。

私論だが、龍馬はしかし単なる尊皇攘夷論者ではなかったと思う。武市の一藩勤皇とも一線を画しており、久坂の過激な尊皇倒幕一辺等でもなかった。彼はまだ見えぬ未来の自分の在り様を求めて呻吟（うめくように苦しんで）していた。ともかく動きださねばならぬとの思いふつつつと燃えたぎる実践への想いがついに脱藩の決意に至ったものと思われる。

コロナ禍に思う コロナが笑ってる！！

重大なことは「にもかかわらず」起こることが多い。

医学の進歩は「がん」を追い詰めつつあり、IPS細胞の発見と医学的活用は、未来の医療を画期的に変えるといわれている。ITやAIを駆使した技術革新は第3次産業革命というにふさわしい、目を見張るような進化を遂げている。更には5Gの世界へと突入している。世界の経済は多くの課題を抱えながらも膨張を続け、先進諸国の多くは物質的には豊饒な時代を謳歌している。人類は未来のさらに豊かな生活の幻想の中に時間を刻んでいる。

そして空前絶後の歴史を画するような変容の最中「にもかかわらず」人類の油断につけこむようにして忍び込んできた悪魔のような新型コロナウイルス。今やコロナは全世界を席卷しさらに感染拡大を続けている。見えない敵に対して、人類はなすすべもなくその脅威に右往左往している。先が見えない恐怖は、感染力の強さや、粘着性、致死率、不明なままの発生のメカニズムを内包して、どんよりとした閉塞感で人々を覆いつくしている。閉塞感はずなわち人々のマインドに影を落とし、児童虐待や暴力、無謀運転による事故、暴動などの形で現出している。

コロナの脅威を前にしてこれまでの倫理や道徳もある意味無力であったとしか言いようがない。コロナウイルスの高笑いの声が聞こえてきそうな気がする。

「こんなはずではなかった」

コロナウイルスに対応するワクチンや特効薬は、ほんの1~2カ月あればできるものだと思っていた。日本人は天災について多くの災禍を経験し、何事についても経験豊富といえる。「にもかかわらず」自分だけはその目にあうことはないものと、心の奥で思っている節がある。悲惨な経験をしてきた割には楽天的だ。自動洗浄のトイレは勝手に汚物を消し去ってくれる。自分が何もしなくても、誰かがやってくれる、何とかなる。そう信じ込んでいる。マスクの80%は中国製、あらゆる面でみられる過剰な中国依存現象。

戦後75年が経過した現代、まさに「平和ボケ」の極みである。専門家と称する人の頼りなさ、組織力がないから各人各様の説がばらばらに出てくる。この時節に家族でイタリアを観光旅行し、岡山の感染者第1号になった人がいる。助成金・給付金をめぐる政治家の迷走。国や地方公共団体の自粛要請を無視して歩き回る人。三密（密集・密接・密閉）三拍子揃った遊技場（パチンコ）の一部が自粛に応じない。またそこへ遊びに行く無神経さと節操のなさ。根拠のないうわさ話に惑わされてトイレトペーパーや食料品を買い漁る人々。アベノマスクで460億円。そのマスクに毛髪やごみが入っていて回収騒ぎ。医療崩壊の危機。本当に日本の国力



太陽の周囲をとりまく薄いガス
皆既日食

や民度は言うほどの高さにあるのだろうか。道徳心の薄っぺらさを感じる。「こんなはずではなかった」ことが、いま日本中で起きている。地球上に生息するいきとし・いきるもの、皆が存亡の危機に瀕している。大自然の脅威はさまざまに形を変えて、容赦なく圧倒的な力で地球を支配する。そんな大自然に対して、無力な私たちはその無力さに気が付いていただろうか。果たして予兆はなかっただろうか。拡大し続け続ける貧富の格差、環境破壊、地球温暖化、政治的・風土的貧困に対する支援、飢餓難民の救済など世界的グローバル化の負の部分への配慮は十分であったか。国益優先の自国ファーストの横行、「地球環境を守れ」と主張する15歳の少女の訴えを拒否し異端視したのは誰だったか。真のグローバリズムはこうではなかったはず。多くの生き物が絶滅の危機にある。世界中の人が悩まされている各種アレルギー。このような現実の中で未知の新型ウイルスの発生はこれからも繰り返すだろう。再びコロナウイルスの高笑い。

「未曾有の大災害に対して」

私たちはどう対処していくべきであろうか。まず必要なことは被害者意識を持つのではなく、当事者意識を持つことだと思う。感染者の証言によれば、ガラス片が突き刺さるような喉の痛み、肺がえぐり取られるような重い苦しい咳、そして肺炎になってからの急変で死に至るのが特徴的な症状・経過であるといわれている。今大切なことは「死を思う」ことだと思う。このウイルスに対するワクチンはなく特效薬も存在しない。私たちが共通認識として「死を思う」ことができれば、無謀で危険な行動はとれないのではないと思う。死を恐れ、感染することがすなわち感染させることにつながることを知るべきだ。世界的にあらゆる面で、地球規模の大変革が起こるかもしれない。これまでの常識を捨て、新しい価値観や倫理観を作り出さねばならない。I・T・Aの進化が人々に平穏と幸福を本当にもたらすだろうか。そんな不安や疑念も、もはや変わらざるを得ない局面にきている。好むと好まざるとにかかわらず、新しい未来への路線に乗り込むしかない。その中で、人が失ってはならないものは何かを考え、その叢智を結集して、最終的には私たちがI・T・Aの時代を支配しなければならない。

人間性の喪失を最小限にとどめ、だからこそ必要な人類愛や自然へのやさしさを大切にしたい。情操豊かな人であらねばならない。保育や教育もそういった人づくりを目指さなければならない。

未だにコロナウイルスの終息の気配は見られない。人類がコロナ災禍による社会的大変動に対応して、その叢智と理性を結集し、コロナ終息への道を切り開くことができるかどうか、その真価を問われている。

人との接触を8割減らす、10のポイント

緊急事態宣言の中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守るよう、日常生活を見直してみましょう。

<p>1 ビデオ通話で オンライン帰省</p> 	<p>2 スーパーは1人 または少人数で すいている時間に</p> 	<p>3 ジョギングは 少人数で 公園はすいた時間、 場所を選ぶ</p> 
<p>4 待てる買い物は 通販で</p> 	<p>5 飲み会は オンラインで</p> 	<p>6 診療は遠隔診療 定期受診は間隔を調整</p> 
<p>7 筋トレやヨガは 自宅で動画を活用</p> 	<p>8 飲食は 持ち帰り、 宅配も</p> 	<p>9 仕事は在宅勤務 通勤は医療・インフラ・ 物流など社会機能維持 のために</p> 
<p>10 会話は マスクをつけて</p> 	<p>3つの密を避けましょう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 換気の悪い密閉空間 2. 多数が集まる密集場所 3. 間近で会話や発声をする密接場面 <p>手洗い・咳エチケット・換気や、健康管理 も、同様に重要です。</p>	

雇用調整助成金の支給申請について

新型コロナウイルスの勢いはとどまるところを知らず、日本のみならず全世界を席卷しています。まだ、終息の見込みがつかず各国とも医療崩壊の危機に見舞われています。

中小企業の状況は、行政からの自粛要請に基づく休業やむを得ずという状況です。この状況が長く続けば倒産や廃業に至る場合も予測され、空前絶後の社会的危機状況にあるといわざるを得ません。政府が持ち出している休業補償の施策も十分なものとは言えず不平不満も高くなっています。そういった状況の中で当事務所と致しましては、「雇用調整助成金」の支給申請手続きを顧問先等の要請に応じて取り組んで参りたいと存じます。

「雇用調整助成金」は従来構造不況業種の救済を目的として創られたもので、その要件を大きく緩和して今搬のコロナ対策に準用しようとしています。概略はコロナ禍により事業の縮小・減産をせざるを得なくなった事業主が、従業員を解雇することなく休業した場合で、会社都合による休業の補償として休業手当（労基法第26条）を支払った場合に、申請に応じて数か月後に支払った休業手当の^{*1}80%~100%程度補填する制度です。休業手当は平均賃金の60%以上支給する必要があります。要件・添付書類等、大幅に緩和されているとはいえかなり難しい申請となっております。

1人1人が「うつらない、うつさない」を実践して1日も早いコロナ撲滅の日をめざしましょう。

^{*1} 令和2年4月28日現在です。

2020年4月28日

福留経営労務管理事務所

社会保険労務士 行政書士 福留 章

雇用調整助成金の概要（2020.4.28 現在）

期 間	緊急対応期間 令和2年4月1日～6月30日
対 象	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業主（全業種）
生産指数要件	1ヵ月5%以上低下（申請月の前月の前年同月比）
対象者	雇用保険被保険者 雇用保険被保険者以外（緊急雇用安定助成金）
助成率	10/10（中小）（解雇 雇止めなし・行政の要請に基づく休業）
計画届の事後提出	令和2年1月24日～6月30日まで

緊急告知

中国との特別なルートにより、マスクを一定数量確保しています。
マスクでお困りの事業主の皆様は当事務所までお問合せ下さい。

